

令和元年度「シニア地域活動入門講座」《 第7回 》

日時 : 令和元年 8月7日(水) 13:15~16:00

場所 : 福祉プラザ2階 会議室AB

内容 : 身近な地域で支えあいの活動を(援助が必要なかたを支える仕組みとは)

1. 講座内容(テーマ)の趣旨説明・・・・・・・・・・日立市社会福祉協議会 宮本 淳 様
誰もが生活する上での「助け」となる自助、互助、共助、公助などについて日立市内で取り組んでいる在宅生活者に対する支援活動の紹介と支援の仕組みを共に考えたい。
2. 地域包括支援センター成華園の活動状況と事例紹介・・社会福祉士 薄井 絵美佳 様
地域包括支援センターは日立市に9か所 65歳以上の人 約7,000人~7,500人に1か所の支援センター設置が必要。対象者本人と地域が長年築き上げてきた関係性、介護保険サービスは補足的に利用、情報共有ができ顔の見える関係づくり、何気なく見守る目が必要。
3. 高齢者の在宅生活支援・介護予防サービス紹介・・日立市社会福祉協議会 大井川 順子様
ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体と協働し重層的な生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築を支援。生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)配置・協議体の設置は多様な関係主体間の定期的な情報共有と連携・協働で取組を推進。
4. コミュニティでの高齢者支援組織・事例紹介・・仲町学区 地域福祉推委員 藤田 とし子様
仲町交流センターを拠点に、仲町学区コミュニティ推進会和仲町地区社会福祉協議会との一体化組織として、その他の関連組織や団体とも連携して活動、要支援者を支える事業(あんしん・安全ネットワーク)による高齢者(認知症・こだわりが強い・家族に頼めない)への片付け・清掃支援。



講座の趣旨説明 市社協 宮本さん



支援活動状況の発表者



熱心に聞き入る受講生



質問する森山さん